

12月議会のあらまし

会期 12月1日～22日

議案

- 諮問 1 件 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 条例改正 9 件 幸田町火入れに関する条例の一部改正 など ⇨ 下記参照
- 条例制定 1 件 幸田町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 財産の取得 1 件 財産の取得について(被災者生活再建システム等端末)
- 補正予算関係 2 件 令和7年度一般会計補正予算(第3号) など ⇨ 5ページ参照

◆最終日の追加議案◆

- 条例改正 3 件 幸田町議会の議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について など
- 補正予算関係 2 件 令和7年度一般会計補正予算(第4号) など

陳情

陳情 5 件を審議し、全て不採択とした。

一般質問

10人の議員が町政全般にわたる課題をただした。 ⇨ 7～12ページ参照

臨時会 会期 令和8年1月5日

議案

- 補正予算関係 1 件 令和7年度一般会計補正予算(第5号)



火入れの際は必ず申請を

～火入れ(野外での焼却行為)のルールを明確化し、安全を高める～



【施行期日】 令和8年1月1日

問 無許可の火入れが起きている。どう周知する？

答 区長会で申請が必要である旨等を直接説明し、町ホームページ周知中。今後は公式LINEで複数回の発信を行うなど、周知を強化していく。

問 農地の剪定枝などは、どう申請すれば良い？

答 例外的に野外焼却が認められる場合があるため、自己判断せず、まず産業振興課へ相談を。

年頭のあいさつ



議会議長
廣野房男

町民の声を生かした
政策の実現へ

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、お米の値段をはじめ、物価上昇に悩まれた一年となり、その影響は年が明けても続きそうな勢いです。

町議会では、DX推進の一環としてタブレット端末を導入し、情報共有や業務の効率化を図るなど、大きな変化の年となりました。本年は、町のみならず、議会が交流する場を企画し、その声を政策に生かす活動をしていきます。

そのためにはちょっとした議会改革が必要と思っています。

新しい年が、町のみなさまに幸多き一年となることをご祈念申し上げます。

令和8年1月



補正予算



※補正予算とは

当初予算の成立後に新しく組まれる予算です。自然災害や社会情勢の変化で新しい予算が必要な場合に追加されます。

効率的で計画的な町政運営がされている



(歳入) 総務費寄附金：10億円

～ふるさと寄附金は当初予算額を上回る見込み～

問 町内事業者の数は増えてる？

答 令和5年度33社が現在41社。地元企業の売上増にもつながっている。

問 財政運営として問題はない？

答 増額分は来年度以降の事業に向け、都市施設整備基金へ積み立て予定。

お年寄りまでみんなが元気



総務費：3億円

～町民負担の緩和と町内消費の活性化～

問 生活支援チケットはどのように届けるのか？

答 1人当たり合計5000円を2回に分けて郵送する。詳細は検討中。

- ① 3月末…3000円（町内外で使用できる）
- ② 4月末～5月…2000円（町内のみ使用できる）

いのちと暮らしをまもるぞ



債務負担行為補正：1428万円

～デマンド交通の車両リース料（5年間）～

問 利用できる人の対象は拡大される？

答 現在の「65歳以上や障害者手帳を持つ方」の制限をなくし、誰でも登録できるしくみへ拡大の予定。

問 多額の費用はどうやって確保する？

答 利用者の一部負担（運賃の導入）、企業スポンサー、企業版ふるさと納税、国や県の補助金の活用を組み合わせで検討。

賛否の分かれた議案		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	議長	議決結果 (賛成:反対)
		議員名	藤本和美	吉本智明	野坂純子	松本忠明	長谷川進	岩本知帆	田境毅	石原昇	鈴木久夫	黒木一	藤江徹	稲吉照夫	笹野康男	丸山千代子	都築幸夫	廣野房男	
陳情第11号	「日本国国章損壊の罪」の早期制定を求める意見書の提出を求める陳情書		○	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	—	不採択 (1:13)
陳情第12～15号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書など		×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	○	×	—	不採択 (1:13)

※議長は賛否に加わることはできません。ただし、賛否同数の場合は、可決・否決を決めることができます。